

郷土に誇りと夢を



山内隆文市長(右)から認定書を受ける安田玲美理事長。
左は中平均副理事長

久慈高OBがNPO法人設立

産業振興、人材育成に力

東日本大震災をきっかけとして岩手県立久慈高校の1989年度の卒業生10人が、地域活性化などに取り組むNPO法人「北いわて未来ラボ」(安田玲美理事長)を久慈市に設立し、4日、市から設立認定書の交付を受けた。市内でのNPO法人設立は13団体目。地域産業の振興などを事業方針に掲げ、2012年度は高校生対象の講演会を開くなど人材育成に力を入れる。

(水野大輔)

設立メンバーは震災発生以降、野田村での支援活動などをそれぞれ行ってきたが、地域貢

献したいとの思いが合致し、NPO法人の設立に至った。

設立目的で「郷土に誇りと夢を持つことができる地域づくりを寄与する」としており、中国・北京を拠点にマーケティング会社を経営する安田理事長のノウハウなどを生かしながら、長期的視野に立った久慈地域の産業構造の転換などに取り組むという。

市役所での交付式には、安田理事長と中平均副理事長が出席。山内隆文市長から認定書を受けた安田理事長は「久慈地域の産業構造を改め、未活用資源を発掘し、30年先のグランドデザインを示してみたい」と意気込みを語った。